

公益財団法人 横須賀市生涯学習財団

経 営 状 況 説 明 書

平成28年度（2016年度）事業報告

平成29年度（2017年度）事業計画

目 次

平成 28 年度

事業報告書	_____	1
貸借対照表	_____	26
貸借対照表内訳表	_____	27
正味財産増減計算書	_____	28
会計別事業体系図	_____	30
正味財産増減計算書内訳表	_____	32
財務諸表に対する注記	_____	36
付属明細書	_____	38
財産目録	_____	39
監査報告書	_____	41

平成 29 年度

事業計画書	_____	42
収支予算書	_____	55
会計別事業体系図	_____	57
収支予算書内訳表	_____	58
資金調達及び設備投資の見込みについて	_____	62

平成28年度 事業報告書

1. 概 要

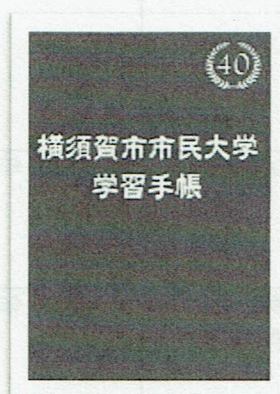
概 要

平成28年度は、横須賀市生涯学習センターの指定管理期間の第3期（平成26年度から4年間）の3年目（第1期から通算して11年目）に当たり、指定管理者として提案した項目の実現に向けて計画した内容を着実に実施してまいりました。

事業運営全般については、基本方針として掲げた「低廉・良質」、「市民（利用者）第一」、「安全安心」に基づき、市民の皆様に対して、より良い充実したサービスを効果的に提供するとともに、「生涯学習社会の実現」を目指し取り組んでまいりました。特に、昭和52年から開催してきました市民大学講座が40周年を迎えたため、記念特別講座として3講座（16ページ表中No.54～56）を実施したほか、新たな制度「まなびポイント制度」を導入し、そのポイントと受講記録を整理するための「市民大学学習手帳」を受講生に配付するなど、市民サービスの向上を図りました。



40周年記念特別講座



学習手帳

役員等に関する事項

（平成29年3月31日現在）

役員名	氏 名	役員名	氏 名
評議員(7名)	石原 陽子	理事長	永妻 和子
	大川原 日出夫	副理事長	菊池 匡文
	岡 昌憲	常務理事	稲森 但
	鈴木 立也	理 事(2名)	下里 矩生
	富岡 浩司		出口 正樹
	原 忠	監 事(2名)	近藤 雅之
本間 健一	永塚 高行		
(事務局職員数) … 31名			
財団事務職員	13名(正規職員	4名	任期付職員 9名)
庶務経理職員	1名(任期付職員	1名)	
受付担当職員	9名(臨時職員	9名)	
図書担当職員	5名(臨時職員	5名)	
市民大学補助	3名(臨時職員	3名)	

会議の開催状況

(1) 評議員会

会議名	開催場所	開催日	内 容
第1回 評議員会	決議の省略	平成28年4月15日	①理事の補欠選任について
定 時 評議員会	生涯学習センター 第2学習室	平成28年6月21日	①平成27年度事業報告について ②平成27年度計算書類等について ③評議員の改選について ④理事の改選について ⑤監事の改選について

(2) 理事会

会議名	開催場所	開催日	内 容
第1回 理事会	決議の省略	平成28年4月15日	①業務執行理事（常務理事）の選定について
第2回 理事会	生涯学習センター 第3学習室	平成28年5月30日	①平成27年度事業報告について ②平成27年度計算書類等について ③評議員の推薦について ④理事の推薦について ⑤監事の推薦について ⑥定時評議員会の招集について 《報告》職務の執行状況について
第3回 理事会	決議の省略	平成28年6月21日	①代表理事（理事長）の選定について ②代表理事（副理事長）の選定について ③業務執行理事（常務理事）の選定について
第4回 理事会	生涯学習センター 第3学習室	平成29年3月24日	①平成28年度補正収支予算について ②平成29年度事業計画及び収支予算について ③就業規則等の変更について ④評議員会の開催について 《報告》職務の執行状況について

(3) 監査

会議名	開催場所	開催日	内 容
決算監査	生涯学習センター 講師控室	平成28年5月23日	平成27年4月1日から平成28年3月31日までの事業年度における会計及び業務の監査

※当財団会計処理規程に基づく「内部監査」の実施（年2回）

5月19日、10月20日

寄附を受けた財産

平成28年度公益目的事業対象寄附金 0件

2. 平成 28 年度 事業実績（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

公益目的事業

I 文化活動及び生涯学習活動の支援

1. 文化生涯学習活動支援事業 【自主事業】

市民の文化活動及び学習活動の支援のため、事業の運営に必要な経費の一部について助成を行ったほか、催し等に協賛し、生涯学習財団賞の贈呈や後援名義使用の承認を行った。

(1) 文化生涯学習事業助成

文化及び生涯学習事業助成要綱に基づき、事業に必要な経費の一部を助成した。助成金額は原則としてその対象経費の 20%（千円未満切捨て）とし 10 万円を上限とした。

No	事業名	開催日	団体名	助成金額(円)
1	浦賀ウインドオーケストラ 第 12 回定期演奏会	5/29	浦賀ウインドオーケ ストラ	100,000
2	第 76 回 Y B 公募展	6/5～6/11	横須賀美術協会	100,000
3	第 48 回横須賀写真連盟公募展	6/20～6/26	横須賀写真連盟	81,000
4	横須賀市民吹奏楽団 第 53 回定期演奏会	7/3	横須賀市民吹奏楽団	100,000
5	横須賀マンドリンアンサンブル 第 37 回定期演奏会	7/16	横須賀マンドリンア ンサンブル	99,000
6	横須賀シーサイドウインドオーケス トラ第 8 回定期演奏会	10/8	横須賀シーサイドウ インドオーケストラ	72,000
7	第 5 回ヴォーチェアプリーレ 声楽コンサート	10/10	ヴォーチェアプリー レ	29,000
8	木版画カレンダー制作	11 月完成	きんもくせい	32,000
9	郷土誌の出版 旧・日本帝国海軍「横須 賀鎮守府」132 年の歩み	11 月発行	横須賀の文化遺産を 考える会	100,000
10	ジョイフル・ブラス・オーケストラ 第 34 回定期演奏会	12/18	ジョイフル・ブラス・ オーケストラ	100,000
11	第 29 回横須賀書作家協会展	1/13～1/15	横須賀書作家協会	82,000
12	「伝えたい 戦中戦後を生きた 51 人 の記録」の出版	2 月発行	三浦郡豊島町をもつ とよく知る会	100,000
13	第 40 回横須賀東洋蘭展示会	3/11～3/12	横須賀東洋蘭愛好会	26,000
合 計				1,021,000

(2)文化生涯学習事業協賛

市民の文化及び生涯学習の振興に寄与すると認められる催し等に対して、生涯学習財団賞の贈呈や後援名義使用の承認を行った。

No	事業名	開催日	団体名	財団賞
1	横須賀川柳協会 平成28年度第1回川柳大会	4/16	横須賀川柳協会	賞状
2	第76回YB公募展	6/5～6/11	横須賀美術協会	賞状
3	第48回横須賀写真連盟公募展	6/20～6/26	横須賀写真連盟	賞状
4	第58回黒船祭俳句大会	7/9	横須賀俳句協会	賞状・賞品
5	横須賀川柳協会 平成28年度第2回川柳大会	9/24	横須賀川柳協会	賞状
6	第69回横須賀市民文化祭公募部門	11/22	横須賀市文化振興課	賞状・賞品等
7	三笠 第24回「書初め大会」	1/4	公益財団法人三笠保存会	賞品
(後援名義使用承認件数)				
49件				

2. 文化・生涯学習情報の収集提供・学習相談事業 【指定管理事業】

横須賀市内で行われる催しや事業、生涯学習に関する情報を収集し、市民に提供するとともに、市内で活動するサークルや講師等の情報管理を行ったほか、学習活動を支援するため学習相談を行った。

(1)文化・生涯学習情報の収集提供

横須賀市内で学習活動をしているサークルや学習活動を支援する講師などの情報「Yokosuka まなび情報」の管理運営を行い、市民の生涯学習のきっかけづくりを行いやすくするために、ホームページへの情報掲載や冊子「Yokosuka まなび情報 瓦版」を作成し市内施設に配布するなど、広く市民に情報提供を行ったほか、まなび情報登録者に対してサポート体制の充実を図るためにアンケート調査を実施した。また、各種団体からのポスター・チラシ案内の配布・掲示を行った。

①Yokosuka まなび情報 登録件数及び紹介件数

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

No	分類	登録件数(3/31現在)	紹介件数
1	サークル・団体	452	673
2	講師・指導者	253	68
合 計		—	741

②Yokosuka まなび情報瓦版 発行状況

No	件 名	発行部数	備 考
1	まなび情報瓦版 (閲覧用)	180 部	年 1 回 7 月 発行
2	まなび情報ミニ瓦版 (サークル情報) 配布用	年間 3,450 部 (1 回平均 1,150 部)	4 月、8 月、12 月の 年 3 回 発行
3	まなび情報ミニ瓦版 (講師情報) 配布用	年間 2,400 部 (1 回平均 800 部)	4 月、8 月、12 月の 年 3 回 発行
合 計		6,030 部	

③その他の情報提供件数

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

内 容	ポスター掲示	チラシ配布	冊子配布	合 計
件数 (件)	521	1,198	174	1,893

(2) 月刊情報紙「まなびかんニュース」の編集発行

財団及び横須賀市の各種事業の広報のほか、主に市内で行われる催し物、サークル紹介等文化及び生涯学習情報を掲載した情報紙を発行した。

なお、適正な配布部数を把握するために、配布先へのアンケート調査を実施した。

No	件 名	発行部数	備 考
1	まなびかんニュース (A4判、12 ページ)	年間 140,000 部 (11,500 部×8 回、 12,000 部×4 回)	毎月 1 日 発行 6 月、10 月、11 月、2 月 の年 4 回 増刷

*まなびかんニュース郵送サービス 20 名 (毎月自宅へ郵送 年間 1,200 円：郵送料相当額)

(3) 「まなびかんホームページ」の管理運営

横須賀市生涯学習センター(まなびかん)の紹介や財団の各種事業、各種講座の申込みのほか、様々な情報提供を行った。

No	件 名	アクセス件数	備 考
1	まなびかんホームページ (http://manabikan.net/)	年間 41,247 件 (平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 3 月 31 日)	前年度 32,645 件 (8,602 件増)

(4) 学習相談の実施及び情報コーナーの運営

学習相談では学習相談員を中心に学習情報の提供、学習方法その他必要な事柄の助言を通し、相談者の学習支援を行った。

また、平成 24 年度から開始した市内のコミュニティセンターへの出張形式 (出

前)による学習相談を継続して行った。(2箇所:衣笠・大津)他に、生涯学習センターの周知を図るため、コミュニティセンターの文化祭(3箇所:浦賀・北下浦・田浦)及び1月21日開催の「生涯現役セミナーin 追浜」にパネル展示及びチラシ配架協力を依頼した。また、6月5日開催の「ふれあいフェスティバル」、11月19日開催の「生涯現役フォーラム」においても出張学習相談を行い、市民の学習ニーズの把握に努めた。

情報コーナーには、学習情報検索用のパソコン及びプリンタを設置し、市民の学習活動の支援を行った。

①学習相談内容と件数 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

内 容	講座・イベント	施設・場所	サークル	講 師	グループ
件数(件)	3,053	2,139	675	79	649
内 容	人 材	教材・器材	資 格	その他	合 計
件数(件)	734	624	7	151	8,111

②情報コーナープリンタ印刷サービス (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

No	件 名	印刷利用枚数	備 考
1	プリンタ印刷サービス	593枚(前年度1,496枚)	有料:モノクロA4 サイズ1枚10円

3. 学習成果の地域活用事業 【指定管理事業】

学習成果を地域に生かす活動や地域活動への参加促進といった市民の多様な学習活動の支援を行うもので、「Yokosuka まなび情報」登録講師によるABCプランのほか、市民を対象にした地域活動サポーター養成講座を開催した。

(1)「Yokosuka まなび情報」ABCプラン及びスキルアップ講座の実施

「Yokosuka まなび情報」に登録している活動経験の少ない講師やこれから活動を始めたいと考えている市民を対象に、それぞれの地域で講師活動が円滑に行えるよう「講師デビュー」のサポート事業として、ABCプラン(研修、相互評価などの一連事業)を実施した。職員との面談等での助言を通し、終了後は各講師が自主的にサークル化や自主企画講座の開設を行うなど継続的な学習を促した。

また、登録サークル及び講師を対象にスキルアップにつながる講座を開催した。

①ABCプラン

No	講座名	開催場所	開催日	回数	定員 (名)	応募者 数(名)	受講者 数(名)
1	A研修会	生涯学習センター 第1学習室	7/31・8/1	1回 ×2	50	32	30
2	Bデモ講座	生涯学習センター 第1学習室	9/25・26	1回 ×2	16	17	16
3	(Cデビュー講座) ①詩吟	生涯学習センター 音楽室	3/6・13	2回	10	13	9
4	(Cデビュー講座) ②水彩画	生涯学習センター 美術工芸室	3/3・10・17	3回	10	19	10
5	(Cデビュー講座) ③トールペイント	生涯学習センター 美術工芸室他	3/1・8・15	3回	10	6	6
6	(Cデビュー講座) ④アロマセラピー	生涯学習センター 美術工芸室	3/12・19・26	3回	20	6	6
7	(Cデビュー講座) ⑤書道	生涯学習センター 美術工芸室	3/7・14・21	3回	10	6	5
8	(Cデビュー講座) ⑥料理・お菓子づくり	生涯学習センター 調理講習室	3/10・17	2回	12	15	11
9	(Cデビュー講座) ⑦妊婦リフレッシュ	生涯学習センター 和室	3/14・28	2回	6	0	-
10	(Cデビュー講座) ⑧英会話	生涯学習センター ミーティングルーム	3/2・9・16	3回	10	33	9
11	(Cデビュー講座) ⑨未来家計簿	生涯学習センター 第3学習室	3/4・11・25	3回	10	3	1
12	(Cデビュー講座) ⑩俳句入門	生涯学習センター ミーティングルーム	3/14・21・28	3回	10	27	10
13	(Cデビュー講座) ⑪ペット終活セミナー	生涯学習センター ミーティングルーム	3/3・10	2回	15	5	1
14	(Cデビュー講座) ⑫ギャラリートーク	生涯学習センター 市民ホール	3/7・14	2回	15	16	15
15	(Cデビュー講座) ⑬ストレッチ体操	生涯学習センター ミーティングルーム	3/4・11・18	3回	12	11	6
16	(Cデビュー講座) ⑭妊婦ヨガ	生涯学習センター ミーティングルーム	3/11・18・25	3回	8	0	-
17	(Cデビュー講座) ⑮脳トレーニング	生涯学習センター 市民ホール	3/12	1回	20	7	7
合 計					244	216	142

*No.1・2はいずれも2日間合計、受講料は無料

*No.9・16は、いずれも最少催行人数3名に達しなかったので開催中止

*Cデビュー講座の受講料は一律1回500円(例～3回:1,500円)、受講料以外のテキスト代・保険料・材料費等は別途実費負担

【学習の成果として】

上記Cデビュー講座実施の13講座中、新規サークル7つ、既存サークル1つ、活動予定1つの計9講座で継続した学習が行われる結果となった。(講師からの実施報告書より)

②スキルアップ講座

No	講座名	開催場所	開催日	定員 (名)	応募者 数(名)	受講者 数(名)
1	まなびかんにパネルをはろう	生涯学習センター 市民ホール	11/24 午前・午後	午前 30 午後 30 計 60	午前 35 午後 24 計 59	午前 29 午後 18 計 47

*受講料は無料（先着順受付）

★スキルアップ受講者終了後の講師添削サービス（25名／受講47名）

★スキルアップ受講者自主作成の「作品パネル」の展示（36枚／受講47名）

期間 1月28日～3月31日 5階ロビー ※まなびかんまつり当日のみ第1学習室



A研修会 (No.1)



Bデモ講座 (No.2)



スキルアップ講座

(2)「Yokosuka まなび情報」登録者の地域活動への活用

「Yokosuka まなび情報」登録者のうち、積極的に地域活動への参加可能な登録者のリスト（サークル、講師）を作成し、学校行事等さまざまな地域活動において活用できるように、市内の学校などに配布した。

No	件 名	発行部数	備 考
1	地域活動参加可能者リスト	182部	年1回 3月発行

(3) 地域活動サポーター養成講座の実施

市民を対象に、自立性と実践力を高めるための養成講座を開催し、地域活動につながる人材の育成支援を行った。今回は 28 年度と 29 年度の期間中に、3 学期制を導入し、紙芝居をテーマにした養成講座を実施。28 年度中は 1 学期として紙芝居を観ることからはじまり、演じるまでに行い、2 学期として手づくりの紙芝居をつくるまでに行った。今後 29 年度に行われる 2 学期のつづきでは、受講生同士の作品を発表し合い、ふりかえりを行い、最終 3 学期では、学習成果を地域に活かすことを目標に、生涯学習及びグループ活動について学ぶとともに実践を交えながら、持続可能な組織と体制づくりを目指した活動を行う予定である。

No	講座名	開催場所	開催日	回数・受講料	定員(名)	応募者数(名)	受講者数(名)
1	プレイベント 劇団ぐるぐる座がやってくる	生涯学習センター	10/15	1 回 無料	100	—	63
2	まなびかんトコトン学校 紙芝居編 1・2 学期	生涯学習センター	12/1～4/13	10 回 無料	25	33	30

* 紙芝居文化推進協議会協力講座



地域活動サポーター養成講座

(4) その他の学習成果地域活用事業

- ・ ふれあいフェスティバル 2016 (まなび情報登録講師活用) 6 月 5 日
- ・ まなび情報 A B C プラン (まなび情報登録講師活用) 7 月 31 日・8 月 1 日
- ・ 生涯現役フォーラム 2016 11 月 19 日
- ・ まなびかんまつり (逸見保育園発表会、まなびかんステージ、学びのフリースペース、地域リーダーとまなび情報登録講師との交流会など) 1 月 28 日
- ・ 市民大学「研究コース」の学習成果館内掲示 1 月 28 日～3 月 31 日

Ⅱ 文化活動及び生涯学習活動の普及

1. 受託文化事業 【受託事業】

地域文化の掘り起こしや継承、新たな文化の創出、市民の芸術・文化活動により多彩な文化の振興を図るため、横須賀市からの委託を受けて以下の事業を開催した。

(1) 第 69 回市民文化祭

No	事業名	開催場所	開催日	入場者数 (名)	
				今年度	前年度
1	市民手工芸展	市文化会館市民ギャラリー①②	5/20～5/24	2,008	2,232
2	市民芸能発表大会	市文化会館大ホール	5/22	803	600
3	市民将棋大会	生涯学習センター市民ホール	9/22	120	113
4	諸流派茶会	大明寺	10/2	233	188
5	市民公募作品展	市文化会館市民ギャラリー①②	10/7～10/16	1,442	1,454
6	市民謡曲大会	はまゆう会館ホール	10/9	102	108
7	諸流いけばな展	市文化会館展示室	10/13～10/15	637	541
8	市民盆栽展	市文化会館展示室	10/29・30	487	692
9	三曲発表大会	市文化会館大ホール	10/30	330	249
10	市民囲碁大会	ヴェルクよこすかホール	11/3	116	124
11	市民俳句大会	ヴェルクよこすかホール	11/4	65	44
12	パッチワーク・キルト展	市文化会館市民ギャラリー①	11/4～11/8	2,513	1,366
13	市民川柳大会	ヴェルクよこすか第1会義室	11/6	28	25
14	市民鎌倉彫展	市文化会館市民ギャラリー②	11/11～11/15	419	409
15	市民短歌大会	市文化会館中ホール	11/12	44	45
16	市民書道展	はまゆう会館展示ギャラリー	11/12～11/15	914	693
17	市民詩吟発表大会	市文化会館大ホール	11/13	730	750
18	総合表彰式	市文化会館市民ギャラリー①	11/22	—	—
19	入賞作品展	市文化会館市民ギャラリー①②	11/23～11/29	600	534
20	市民民謡のつどい	市文化会館大ホール	11/23	970	726
21	琵琶名曲発表会	はまゆう会館ホール	11/26	80	50
22	演劇祭 (9 事業)	市青少年会館	7/23～12/18	2,129	1,823
合 計				14,770	12,766

* No. 12 は隔年開催のため、前年度の入場者数は建築・フラワー合同展及び市民百人一首カルタ大会の入場者数合計

* No. 22 (9 事業) …演劇ワークショップ、演劇集団THE素倶楽夢、Y,S ベアフット・シアター、横須賀三浦地区高校演劇発表会、横須賀市民劇場プロジェクト、劇団蒼い群、Y劇場、劇団河童座、プロジェクト夢樹



市民公募作品展 (No.5)



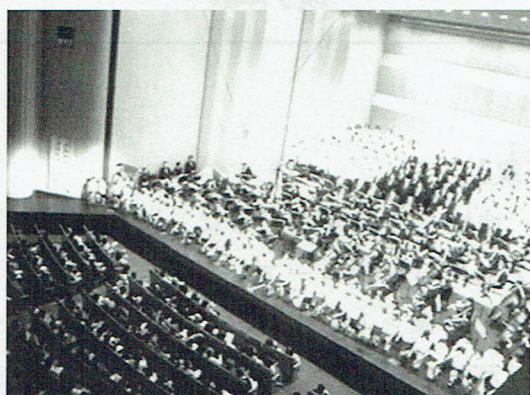
三曲発表大会 (No.9)

(2) その他の受託文化事業

No	講座名	開催場所	開催日	定員 (名)	応募者数 (名)	入場者数 (名)
1	第33回組曲「横須賀」演奏会	よこすか芸術劇場	4/17	1,600	1,413	1,210
2	第40回市民音楽のつどい	よこすか芸術劇場	6/12	—	—	1,681
3	第42回市民合唱のつどい	はまゆう会館 ホール	10/29・ 30	—	—	1,745
4	第18回カジュアルコンサート	よこすか芸術劇場	1/29	1,600	1,430	1,318
合 計				3,200	2,843	5,954

*No.1・4の応募者数はチケット@510円の販売枚数

*No.3の入場者数は2日間合計



組曲「横須賀」演奏会 (No.1)



カジュアルコンサート (No.4)

2. 受託教育事業 【受託事業】

平成 27 年度から引続き、教育委員会の委託事業として、小学生（3～6 年生）を対象にした「小学生プログラミング体験教室」を 6 月以降毎月第 3 土曜日に開催した。（6・7・9・10 月は午前・午後とも基礎コース、11 月から 3 月は午前に基礎コース、午後に中級コース、8 月は第 2 土曜日の午前に親子体験基礎コース、第 3 土曜日の午前に中級コース）受講料はいずれも無料、応募方法は横須賀市コールセンターによる抽選受付とし、全コース定員に達した。

No	講座名	開催場所	開催日	定員 (名)	応募者数 (名)	受講者数 (名)
1	小学生プログラミング体験教室	生涯学習センター パソコン研修室	6/18～3/18 全 20 回	400	1,381	389

* 講師は日本教育大学院大学准教授、関東学院大学准教授ほか、サポートとして関東学院大学大学院生等をお願いした。また、講座内容に関わる運営全般について NPO 法人 CANVAS に協力いただいた。



基礎コース



親子体験

3. 横須賀市市民大学事業 【指定管理事業】

学習した成果を自分だけのものとせず、地域へ還元するために、グループでの継続的な学習活動や学習成果の発表を目的とした「研究コース」、生きがいつくりや生涯現役を目指すことなど幅広い層の市民を対象とした「一般コース」の 2 コースに分別するとともに、一般コースは「課題解決分野」「よこすか学分野」「教養分野」「就職支援分野」の 4 分野に分類し、幅広い層の市民が受講しやすい講座を開催した。なお、平成 28 年度は 40 周年を迎えたため記念特別講座を 3 講座実施したほか、「市民大学学習手帳」を受講生に配布するとともに、新たな制度「まなびポイント制度」を開始した。（講座に出席するごとにポイントを付与、ポイント数に応じて称号及び特典あり）